

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	321	施策	生活支援など暮らしの基盤づくり
管理事業	障害者支援交流センター事業	所管部局	福祉部

1	所管室課	障がい福祉室	事業名	障害者支援交流センター運営事業	
事業概要					
生活介護施設運営、短期入所施設運営					
活動実績					
(1)生活介護事業 障害者総合支援法に基づく生活介護として、食事、入浴、排泄のほか、医療的ケア（やリハビリ）、創作活動等の提供を実施した。 令和3年度（2021年度）末現在において、利用登録者数は58名、その内医療的ケアを要する利用者数は45名で、延べ利用者数は9,778人だった。		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額（千円）	313,363	317,931	
(2)短期入所事業 障害者総合支援法に基づき、居宅における介護者について、疾病等により居宅での介護が困難な場合や、一時休息のため、一時的な施設入所による介護の提供を実施した。 延べ利用者数は2,388人だった。		一般財源の比率（%）	51.2	40.9	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 市全体において増加傾向にある医療的ケアを必要とする重度障がい者（医療的ケア者）について、今後も当該施設が受入れの中心的役割を担っていく必要がある。 現行の業務委託では医療的ケア者の受入れに硬直がみられ、さらなる受入れが困難であると判断し、令和5年4月から指定管理制度を導入するとともに、医療的ケア者の受入れ数やリハビリと施設入浴の実施に応じたインセンティブを設定し、今後とも安定した受入れを行う。
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			

2	所管室課	障がい福祉室	事業名	障害者支援交流センター管理事業	
事業概要					
障害者支援交流センター管理					
活動実績					
(1) 障害者支援交流センターの維持管理 生活介護及び短期入所を実施するにあたり、施設の維持管理、備品の更新や修繕を実施した。		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額（千円）	103,386	236,382	
(2)一般開放事業 研修室やプール等施設の一般開放については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から1年間実施しなかった。		一般財源の比率（%）	100.0	48.3	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・医療的ケア者が多く利用する施設であるため、施設の安全面と衛生管理には特段の注意が必要。 ・施設の老朽化が進んでおり、公共施設最適化計画に基づき、令和3年度においては、外壁修繕、空調機更新、中央監視盤更新を実施した。今後も計画的に維持補修を進める必要がある。 ・一般開放事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前は例年一定の利用があり、地域にも根ざした障がい福祉の向上を担っている。
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			

	所管室課		事業名		
事業概要					
活動実績					
		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額（千円）			
		一般財源の比率（%）			事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名